

月刊 銀ろうたより

presented by 佐藤製作所

担当者からひとこと

去年の今頃のササキ



季節が変わり、春のおいがするようになりました。

皆さんこんにちは。担当のササキです。

最近時間の流れが速く感じてショックを受けています。。

学生時代の今頃だと春休み真っ只中で花見に行ったり、日向ぼっこしたり、私の好きないちご狩りに行ったり、春を大満喫しているのですが社会人になると、春の楽しみ方も忘れてしまうのかと悲しくなっています。

(学生時代に戻りたいと思う今日この頃です) 皆さんは春はお好きですか? 年度が変わったり、花粉でそれどころじゃない方もいるかとは思いますが、ぼわぼわした暖かい春を楽しんでくださいね～!

今月の佐藤製作所は、、、?

3月8日～12日まで佐藤製作所ではインターンシップが行われていました! 今回のインターンシップはいつもと違って、美大生たちをお迎えしました。多摩美術大学、女子美術大学、武蔵野美術大学の3校から応募があり計4名を受け入れました。いつもなら高専生や工業系の学生を受け入れています。佐藤製作所もおしゃれ(?)な会社になるために美大生の力を借りることにしたのです。

今月号はその様子をたくさんお見せします!

インターンシップとは?

インターンシップとは、就活前の学生が企業や会社に来て、実際に作業したり仕事する言わば職業体験のようなものです。(高専生なら18歳19歳、大学生なら20歳21歳で応募し参加します。)インターンシップに参加することで、その会社の社員同士の雰囲気がわかったり、仕事の向き不向きが事前にわかることがメリットになります。デメリットとしてはお給料は発生しないことです。アルバイトに似ていますが、やはり職業体験という感じがですね。日数は会社によって様々で、1日だけの時や1週間～2週間、はたまた1か月間で実施している会社もあります。

佐藤製作所情報

配信停止ご希望の方はお手数ですがメールお願いします。

TEL 03-3712-6652

メール info@sato-ss.co.jp



HPは

こちらからどうぞ

5日間の予定...

佐藤製作所のインターンシップでは5日間実施していて、そのスケジュールの中にはロウ付け体験も含まれています。

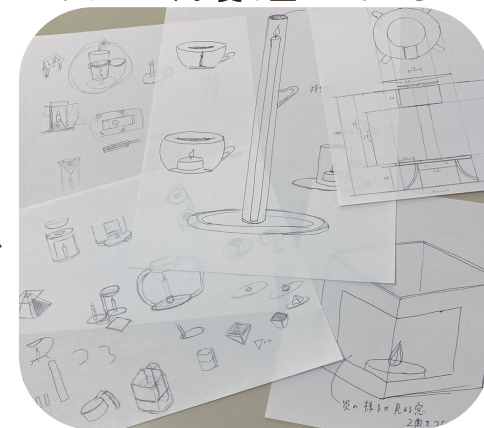
今回の目標は「アロマポットをデザインし、製作する」です。参加者が美大生だけだったということもあり、アイデアスケッチから始まり、設計、ロウ付け、仕上げまでのひと通りの工程をやってもらいました!

5日間で作品を完成させるのは難しいことですが、濃くて充実したインターンシップになるよう、私たち社員も精一杯サポートしました。

インターンシップの始まり

1日目はアイデアスケッチや会社説明会がありました。アイデアスケッチでは自分が好きなようなアロマポットを考えます。

アロマポットとは熱によって香りを拡散させるグッズです。受け皿にオイルをたらし、ろうそくで温めることにより、香り成分を揮発させます。



右の写真はインターン生4人が描いたスケッチです。

個性が違うのはもちろんのこと、スケッチの量や、一つ一つの絵の大きさがみんなそれぞれで見ているととても面白いです!

この時点で美大生感がにじみ出てます。。



今村さんと高橋さん

インターンシップで参加した今村くん(左)と生産管理課で私の先輩の高橋さん(右)が激似だと社内で話題に。。

二人が一緒に歩いていると、わからなくなります。こんな偶然もあるんですね。笑

本格的な銀ロウ付け体験

2日目からは本格的に銀ロウ付け体験を開始しました。

まずサンプルでロウ付けの感覚をつかみ、そのあとに自分の考えたアロマポットのパーツをロウ付けするという工程でやっていきました。

インターン生のレポートでは、ロウ付けはかなり難しかったとの意見が多く「失敗してしまった！部品を焦がしてしまった！」といったコメントが多発しました。

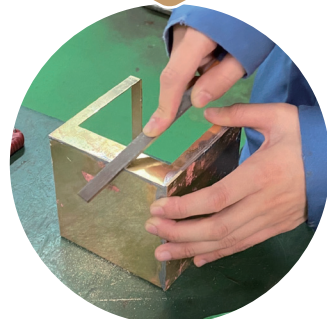
そんなこともあり、4月から銀ロウ付け体験教室を始めますよ！

(別件ですみません。詳しくはHPをご確認ください！！)

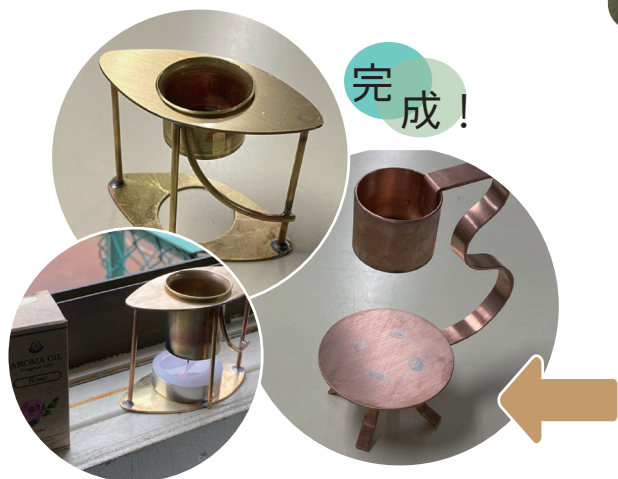
ロウ付けする



パーツを材料から抜く



やすりをかける



完成！

自分の手で仕上げたアロマポット

デザインを考え、図面にし、パーツを組み合わせてロウ付け、仕上げまですべて自分の手で行うことを体験してもらい、皆さんとても楽しく学んでくれました。

佐藤製作所としてもいい刺激になり、会社の強み弱みは何かとか、世の中に銀ロウ付けを広めていく具体的な方法など、たくさん教えてもらいました。

ササキからインターン生へインタビュー！

なんと！インターン生とササキは同じ年なので、ゆるっと、インタビューして色々聞きました。(皆さんすごくしっかりしていたので年上かと思いました。)



竹内さん



土橋さん



今村さん

Q. 学生生活の今、力を注いでいることはありますか？

A. 遠出する、サイクリング

A. 作品づくりにおいて、ブレないこと

A. 自分が思う美しいものを見まくる(動物が好き)

Q. インターンシップで感じた佐藤製作所の雰囲気は？

A. サラメシに出てきそう

A. 優しい雰囲気

A. 人があたたかい

Q. 就職先を決めるにあたって、何を最優先で考えますか？

A. 楽しんで仕事が出来ればいい！

A. 休日、福利厚生が充実してほしい

A. 会社の空気感が自分に合っていること

インタビュー中のササキとそれにしっかり答えてくれるインターン生。みんなアートとかデザインに関する考え方がしっかりしていて美大、いいなあ。ってなりました。



私がかとうに質問しすぎて戸惑わせてしまいました。まあ同年だしいいでしょう！(さらにてきとう)

3代目の部屋

前号に引き続きどんどん僕のスペースは減って行って、最終的には無くなっていいと思っています。もはや僕自身もササキたよりを楽しみになってきています。

ということで今回はインターンシップ特集。

もはやインターンシップでも僕は何もしくなり、(あ、集客だけは僕がやっていました、唯一の仕事です(笑)集めて丸投げが常套手段)学生と雑談するだけの面倒な上司になりつつあります。それもこれも、ダメな上司を持つ有能な仲間が全部やってくれるようになったからです。これから僕は何をすればよいのだろうか、そのうち修哉さんもういなくていいですよとわれれそう恐怖と、期待感。

4月1日からはインターンシップ経験者が2名入社しますので、さらに僕の出る幕が減る事でしょう。それでいい。次号もよろしくお願ひします。